

# 住

## 全愛知建設労働組合

# 建設労働者の地位向上のため、 福利厚生から労働条件改善まで

### 重点的に取り組んでいるアスベスト対策

愛知県下に30の支部を持ち、組合員数は1万人以上、全建愛知の通称で「建設労働者の経済的、社会的地位の向上」を基本目標に掲げているのが全愛知建設労働組合です。組合に加入しているのは全ての建設業関係者です。建設関係の仕事で中心的役割を担ってきたのは、一人親方の大工さんでした。組織に属していないため、ケガや病気の時に十分な補償を受けることが難しく、ボーナスや退職金もなく、労働条件も十分ではありませんでした。こうした建設労働者が安心して働けるようにということで、昭和47年に全建愛知が設立されました。以来、賃金運動をはじめ、営業職のいない小規模事業者や個人事業者のために、仕事の確保など、さまざまな運動を展開してきました。建設労働者をはじめとして大きな社会問題となっているのが石綿（アスベスト）による健康被害です。この問題には組合としても特に力を入れ組合員とその配偶者を対象に、大学教授による胸部X線写真の読影や職歴調査などの実施と労災認定にも積極的に取り組んでいます。



### 地域ボランティア活動にも積極参加

建設業についての制度や知識などは時代と共に変化します。そこで技術、技能、資格を取得するためはもちろん、長期優良住宅などの新しい制度や、確定申告についての各種講習会も実施しています。あるいは工事代金の不払いをはじめとしたトラブル相談、住宅エコポイントの申請窓口の開設など、組合員のための幅広い活動をしています。

一方、名古屋栄の地下街にある「名古屋市住まいの相談窓口」や「耐震相談窓口」へ相談員を派遣して市民からのさまざまな住宅相談に答えています。

地域ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。また名古屋市が主催する区民まつりで、子どもたちに丸太切りやカンナ削りの体験をしてもらったり、独居老人の住宅を補修するなどの活動も行っています。



#### DATA ■全愛知建設労働組合

所在地：港区九番町4-1-10

- ・昭和47年：全愛知建設労働組合設立
- ・同年：中央建設国民健康保険愛知県支部設立
- ・昭和59年：労働保険事務組合認可設立
- ・平成14年：全県愛知会館落成